

報道機関各位 (取材依頼)

九州初!

《北九州学術研究都市10周年企画》
 「北九州・次世代自動車勉強会～EV(電気自動車)の構造理解編～」

第1回目〈11/25(金)〉『EV実車による構造見学会・EV試乗会』実施!

自動車産業参入に関心を持つ北九州地域の企業の支援を目的に、九州で初めてEVをテーマに日産リーフを教材に用いた「北九州・次世代自動車勉強会(全3日コース)」を実施します。

第1回目は11/25(金)「EV実車による構造見学会・EV試乗会」です。

自動車用部品製造企業などを中心に企業経営者・技術者などからの申し込みが多く、参加者は募集枠を大幅に上回る企業約30名(募集定数:企業20名)と次世代自動車の技術を学ぶ北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース(※裏面参照)の学生約10名の総勢約40名となり、関心の高さが伺えます。

また希望者多数により日産自動車様のご協力を得て、2回目の講義を当初予定の12/14に12/13を追加し同一内容で2回に分けて実施することといたしました。

プログラム

〈11/25(金)9:45～17:00 会場 北九州日産モーター(株)〉

- 1.オリエンテーション(9:45～10:00)
 北九州日産モーター(株)本社 2F会議室
- 2.実車勉強会(10:00～17:00 1F整備工場)
 講師 日産自動車(株)日産ラーニングセンター
 北九州日産モーター(株)
 - ・11:00頃～ バッテリー取外し
 - ・13:00頃～ バッテリーパック・パワーユニット取外し
 - ・14:00頃～ パワーユニットからイバーター、モーター等取外し
 - ・15:00頃～ その他車載部品取外し
 ※時間は作業の状況により前後する可能性があります。

話題の日産リーフを教材に、日産ラーニングセンター(神奈川県)の専門講師の解説にあわせ、メカニック担当者が主要部品を取り外していきます。

- ・受講者は実車を間近に観て、現物を確認しながら、EV特有の構造や従来車との違いなどを学習します。
- ・同時にリーフ試乗会も開催し、静粛性・加速性など“走りの違い”を体感します。



- 3リーフ試乗会
 実車勉強会と同時並行で実施。

※当日の取材は随時可能です。
 ※会場:北九州日産モーター(株)本社(裏面地図)
 当日は1F店舗にて受付のうえお越しください。

1. 主催: (財)北九州産業学術推進機構(FAIS)、共催: 北九州市
2. 協力: 日産自動車(株)、日産自動車九州(株)、北九州日産モーター(株)、
3. 参加者: 自動車産業への新規参入や事業拡大を考えている北九州地域の企業
 北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコース学生
4. 受講料: 無料。但し、当日テキスト代(税込1,000円/人)が必要。

プログラム	概要	講師(協力)・実施場所
1回目 11/25(金)	・EV実車による構造見学会 ・EV試乗会	講師: 北九州日産モーター(株)日産ラーニングセンター 場所: 北九州日産モーター(株)
2回目 12/13(火) 12/14(水)	・EVの構造がわかる講座 (※応募多数のため12/13を追加し、同一内容を2回に分けて実施します)	講師: 日産ラーニングセンター 場所: FAIS、実機部品展示
3回目 1/中旬 ※調整中	・(仮)今後のEVを含めた自動車産業の動向・方向性 ・講義テーマ、講師調整中	講師: 日産自動車(株)ほか 場所: FAIS、実機部品展示

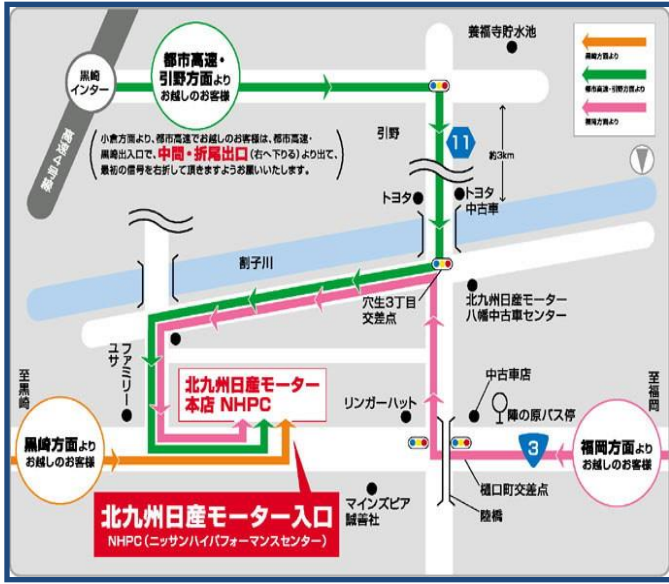
(財)北九州産業学術推進機構(FAIS) カー・エレクトロニクスセンター 担当: 都甲・森永
 TEL 093-695-3685 FAX 093-695-3686

【問い合わせ】

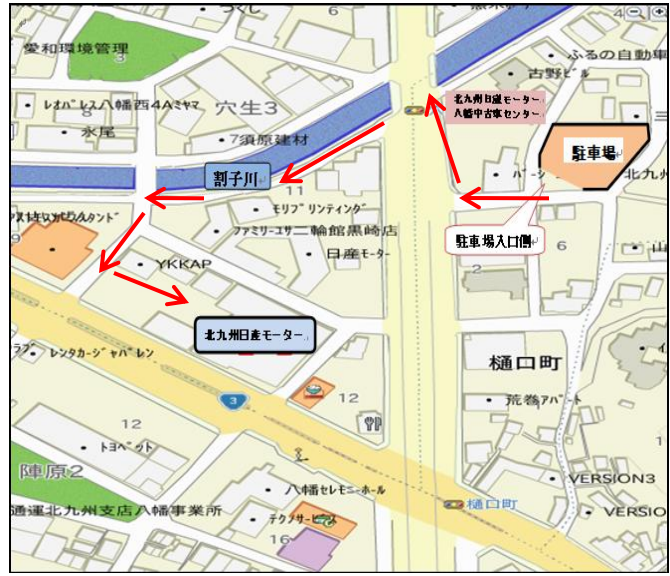
北九州市産業経済局 中小企業振興課 担当: 副島、中嶋
 TEL 093-873-1433 FAX 093-873-1434

実車勉強会 & 試乗会会場

北九州日産モーター本社 093-621-2136
本社営業所: 北九州市八幡西区穴生3丁目10-24



駐車場のご案内



駐車場からの徒歩順路 →

北九州学術研究都市連携大学院カーエレクトロニクスコースについて

目的

北九州学術研究都市の3大学（北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学）と北九州市、FAISが連携し、自動車技術の中でも近年特に重要性が増している「カーエレクトロニクス分野」において、次世代を担うリーダーとして実践力を有する高度専門人材を育成する。

連携大学院の概要

- ◆参加大学：北九州市立大学、九州工業大学、早稲田大学
- ◆開設時期：平成21年4月
- ◆対象者及び定員：3大学の大学院に所属する博士前期課程の学生毎年度30名程度

特長

- ◆国私との連携により各大学院の優位性を活かした単位互換などによる教育プログラム
- ◆産業界からの幅広い協力を得た実践的教育プログラムの実施（基幹7科目は約半分が企業講師）
- ◆大学と企業との共同研究、その場を活用した研究インターンシップの推進
- ◆修了書の発行及び自動車関連企業への就職支援
- ◆施設・設備の共有化と効率化

主な就職先（H23年卒 第1期生）

トヨタ自動車、日産自動車（2）、マツダ（2）、ダイハツ、三菱自動車、デンソー（3）、三洋電機、東芝ソリューション、富士通テン、三菱電機エンジニアリング（2）、ルネサスマイクロシステム（2）ほか